

令和2年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業
市町別総合評価についての情報交換

目次

- (1) 情報交換する市町の抽出・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

- (2) 情報交換する市町の概要
 - ① 朝日町・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2（資料2-2、2-200参照）

 - ② 松阪市・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4（資料2-2、2-258参照）

 - ③ 紀宝町・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6（資料2-2、2-615参照）

1. 令和2年度みえ森と緑の県民税 市町別総合評価

(1) 情報交換する市町の抽出

市町別総合評価において、多くの委員から提言（アドバイス）のあった3市町を抽出

① 朝日町

② 松阪市

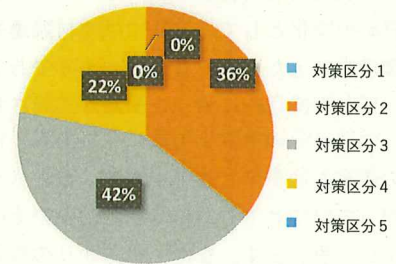
③ 紀宝町

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報

市町名	朝日町	三重県
人口 (人)	11,033	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	18.9%	12.4%
森林面積 (ha)	63	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	63	348,833.49
森林率 (%)	11.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	2.1	10.1

対策区分別事業費割合



* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)					基金積立	
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4		対策区分5
1	3	森林環境教育事業 (あさひ竹プロジェクト)	2,478,036	2,381,000			2,381,000			
2	4	森と緑とふれあう環境づくり事業 (幼保一体化施設)	1,821,600	1,200,000				1,200,000		
3	4	森と緑を大切に思う人づくり事業	44,000	40,000				40,000		
4	2	みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	2,000,000	2,000,000		2,000,000				2,000,000
計			6,343,636	5,621,000	0	2,000,000	2,381,000	1,240,000	0	2,000,000

3. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
森林再生力強化対策事業	0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	<p>当町は町の面積が小さく森林面積も小さいが、森林面積に占める竹林面積割合が約25%となっており、県内一である。また、人口が急増しており年少人口割合が三重県一高い。以上から、当町では竹を活用した事業と年少者やその親を意識した事業を展開している。</p> <p>また、他の事業 (東海道まちなみ整備など) との連携を図り、相乗効果に繋がるよう事業展開をしている。</p>
事業実施により得られた効果	<p>継続事業である幼保一体化施設の緑化、木のおもちゃの購入は例年通り着実に実施し、保護者・保育者の双方において当事業への理解は深まっていると考えられる。</p> <p>新規事業である竹プロジェクトは、全ての事業でアンケートを実施しており、いずれも事業自体が高評価であるとともに竹・竹林に対する認識が深まったとの回答が多数であった。また、町がこのような事業を実施していると広まったことから、竹林に対して問題意識を感じている方々から直接様々な声が寄せられることとなり、今後、有志による竹林整備団体の組成に向けて候補者となり得る方々とのネットワークができていく。</p>
情報発信への取組	<p>継続事業である幼保一体化施設の緑化、木のおもちゃの購入については例年通り看板、備品への焼き印、ホームページ等でみえ森を使った取組であることを周知した。</p> <p>新規事業である竹プロジェクトは、「竹あかり」という視覚効果の高い事業を中心に据えつつ、町民みんなで行ってみたいというコンセプトを軸に、メディアに対し戦略的に情報提供を行った結果、地元ローカルCATVのみならず新聞、ラジオ、NHKに取り上げられ、効果的な情報発信につながった。</p> <p>また、竹あかりの展示イベントは親子で作った竹あかりの展示の場にする等、子育て世代が主体的に参加するよう工夫した結果、多くの子育て世代の参加があり、インスタグラム等SNSを通じた個人による情報発信にもつながっている。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・アンケートによる事業内容のチェックをされていること。竹林整備団体形成へのきっかけを作っていることは評価できません。</p> <p>・二次的自然の管理保全にむけた啓発事業として、竹あかりプロジェクトに期待します。さらなる普及・拡充とともに、朝日町の文化として将来的には竹材調達も住民の手によるものとなることを願っています。またあさひ園の園庭緑化事業も、環境教育上たいへん良い取り組みであると評価します。芝生が今後も末永く維持管理されることを期待しています。</p> <p>・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。竹プロジェクトは竹林整備団体の立ち上げにつながることを期待する。</p> <p>・幼児とその家族を対象にした事業、竹を使った事業、地域性を踏まえた内容で高く評価します。継続されている芝生緑化の事業も他事業と連携がされ、芝生（みどり、自然）→木のおもちゃ（森、木、自然）→竹あかり（森、竹、自然）とつながっていてとてもいいです。幼児やその家族がそのつながりを実感できるように少しメッセージを添えるなどして届けるとよいと思います。また、竹あかりの事業ではアンケートをとっていますが、継続実施している事業についてはアンケートをとり、利用者の反応や事業の効果を把握してはどうでしょうか。せっかく、体系的になりつつある事業ですので、次の展開とまた周知の方法を検討されるとよいのではないのでしょうか。</p> <p>・広報誌などでも「みえ森と緑の県民税」の活用を周知することが望ましい。</p> <p>・1の事業については特に、事業実施により得られた効果や情報発信への取り組みについて具体的な記載がなされている。</p> <p>・森林率の低い町における、この税の使われ方に難しさを感じる。</p> <p>・森林が少ない県北部地域では芝生化やその維持に予算が多く割かれているが是非、森と私たちの暮らしのつながりに気づききっかけとなるような事業を行って欲しい。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	3.5	A	3.2	B	3.3	B	3.7	A
2	4	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）	2.9	B	2.8	C	3.1	B	2.8	C
3	4	森と緑を大切に思う人づくり事業	3.1	B	3.2	B	3.2	B	2.9	B

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報

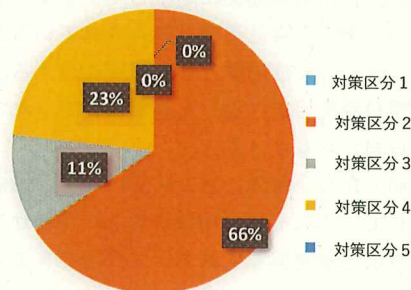
市町名	松阪市	三重県
人口（人）	161,900	1,782,190
年少人口割合（%）*1	12.3%	12.4%
森林面積(ha)	42,652.00	372,352.55
民有林面積(ha)*2	41,300.00	348,833.49
森林率(%)	69.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	9.3	10.1

*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	里山の森林安全安心対策事業	14,910,500	14,861,500		14,861,500				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	8,400,000	2,100,000		2,100,000				
3	3	森林環境学習事業	2,887,500	2,887,500			2,887,500			
4	4	幼稚園木育推進事業	2,200,000	2,000,000				2,000,000		
5	4	都市公園整備事業	6,140,200	4,000,000				4,000,000		
計			34,538,200	25,849,000	0	16,961,500	2,887,500	6,000,000	0	0

3. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	4.0ha	7,744,000	7,725,000	調整伐200本、伐倒・搬出356本
森林再生力強化対策事業	5,332m	3,137,522	3,137,522	防護柵補助5,332m
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.5ha	8,400,000	2,100,000	危険木伐採447本

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	<p>松阪市ではみえ森と緑の県民税市町交付金の活用主旨に則り「災害につよい森林づくり」を目指しつつ川上から川下まで普く当該交付金を有効に活用すべく5つの事業を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 里山の森林安全安心対策事業…民家裏、重要施設付近、幹線道路沿線等において懸案となっている支障木を伐採し、住民の安全安心を確保する目的で実施。 2. 森林環境学習事業…将来の森林の担い手を育成することを目的に、管内小学校を対象に森林環境教育を実施。 3. 都市公園整備事業…都市公園内に地域産の東屋・ベンチを設置し利用者に木の持つ「温かみ」「やすらげる空間」を提供すると共に木材利用に繋げるという目的で実施。 4. 幼稚園木育推進事業…市内の幼稚園の備品を木質化し、幼少期より木との関係を深める。 5. 災害からライフラインを守る事前伐採事業…台風や近年多発するゲリラ豪雨等による倒木被害に起因する停電被害を防止すべく、リスクマネジメントの一環として、被害想定箇所の事前伐採を実施し、県民・市民の安全安心を確保する。
事業実施により得られた効果	<p>里山の森林安全安心対策事業及び災害からライフラインを守る事前伐採事業については、自助努力により対応できない箇所について、配電事業者や地域と連携しながら実施したことにより、物理的な安全安心の確保に加え森林所有者による事業実施後の管理意識の向上に繋がった。</p> <p>森林環境学習については、小学校の従来のカリキュラムである清掃工場における環境学習に加え当該事業を実施したことにより、飛躍的に森林の公益的機能の理解が定着すると好評を得ている。</p>
情報発信への取組	<p>森林整備・都市公園整備遂行にあたり、地域住民への回覧等による情報伝達時に併せて県民税のPRチラシ配布し積極的な啓発を行っている。</p> <p>森林環境学習については、報道機関へ情報提供を行い、新聞紙上やテレビ放映において、情報を発信した。</p> <p>又、森林環境学習の一環で幼児から小学生向けの森林環境教育用の絵本を昨年度作製し、市内全小学校・保育園・幼稚園に配布を行い、絵本を活用した環境学習の推進に努めたが、令和2年度においても第2弾となる絵本を企画し、令和3年度に製本予定である。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・木質化の教育効果に期待しています。全般に、webからの情報発信をご検討ください。 ・幼稚園木育推進事業で購入されている備品は、非常に高額であると思う。物や使用箇所によっては、間伐材などを利用して、安く多く使用するなど可能に思える。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されているが、都市公園整備事業については効率性の観点で少し疑問が残る（積算資料も見当たらなかった）。 ・幼児から小学生、自主防災組織、自治会長など地域住民と幅広い対象の事業を実施され、また下流域から上流域までを意識して、それぞれの地域や状況に合わせて事業を組み立てられていてとてもいいです。松阪市の森林環境の状況をいろいろな方法で事業展開されていて評価できます。課題はいかに関わっていない市民に伝えるか、参加を得るか、当事者意識を育むことが出来るか、です。また、木質化された学習環境での森林環境教育が学びで終わることなく、行動変容につながるよういかに継続進化させていくかです。地域で事業展開を検討できる主体（コミュニティ）ができるといいです。絵本での展開が楽しみです。オリジナル木製プレートとてもかわいいです！ ・環境教育について、さまざまな工夫がされていた。 ・3の事業で事業終了後に絵本を作成し「森のはたらき」等を周知する取り組みは良い。 ・「森林環境学習事業」において、物品購入等に充てられた経費の内訳はあるが、木育などに対する費用の内訳が明記されない。 ・松阪市内には多くの林業事業体や製材所、木材加工、木質バイオマス発電所もあり、県内林業の中心地でもある。 ・主に製材所の若手の組織である松阪地区青和会では新型コロナウイルスの影響もあり大きな行事は難しい中、家でできる木工を動画配信するなど木育活動にも積極的に取り組んでいる。市としてもこうした市内のメンバーとうまく連携した事業を進めて頂きたい。 	

6. 事業別評価表

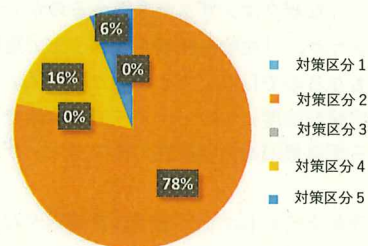
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	里山の森林安全安心対策事業	3.3	B	3.0	B	3.2	B	3.0	B
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	2.9	B
3	3	森林環境学習事業	3.4	B	3.1	B	3.2	B	3.2	B
4	4	幼稚園木育推進事業	3.2	B	3.2	B	3.1	B	2.9	B
5	4	都市公園整備事業	3.2	B	3.1	B	3.2	B	2.7	C

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	紀宝町	三重県
人口（人）	10,588	1,782,190
年少人口割合（%）*1	11.8%	12.4%
森林面積(ha)	6,073.00	372,352.55
民有林面積(ha)*2	6,027.34	348,833.49
森林率(%)	76.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	7.6	10.1

対策区別事業費割合



*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					基金積立	
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4		対策区分5
1	2	生活環境林整備事業	4,332,900	4,332,900		4,332,900				
2	4	飛雪の滝キャンプ場木製備品購入事業	869,000	869,000				869,000		
3	5	クマノザクラ整備事業	330,000	330,000					330,000	
4		みえ森と緑の県民税市町交付金積立金	1,803,100	1,803,100						1,803,100
計			7,335,000	7,335,000	0	4,332,900	0	869,000	330,000	1,803,100

3. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
連携枠（流域防災機能強化対策事業）	5.9	2,715,900	2,715,900	間伐事業
連携枠（流域防災機能強化対策事業）	6.95	3,654,200	3,654,200	間伐事業
連携枠（流域防災機能強化対策事業）	17.73	369,600	369,600	測量事業

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	本町は海・山・川の自然に恵まれ、それらの自然は人々の生活やまちの文化に大きな影響を与えてきた。特に、海岸部及び熊野川沿岸の一部は吉野熊野国立公園区域に位置付けられており、この貴重な自然を保護するとともに、自然にふれあえる場として保全・整備を進めていく。なお、県民税導入後継続して実施している「森と緑の環境教育事業」（対策区分3：森を育てる人づくり）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は実施できなかったが、町民からの要望が多くあり、終息後は再開していく予定である。
事業実施により得られた効果	「生活環境林整備事業」「クマノザクラ整備事業」を実施したことにより、安全安心なまちづくりと自然にふれあう施設整備が行われた。また、熊野川沿いの「飛雪の滝キャンプ場木製備品導入事業」により、施設利用者へ木材の魅力について普及できた。このような取組により、町民、周辺の県民、及び遠方からの観光客などが恩恵を受けることができたことは大きな成果である。
情報発信への取組	各種集客イベントの際、チラシや啓発物品の配布を行っている。また、施工現場ではのぼり旗の設置や県民税活用の看板の設置、備品購入等の場合は、施設内に県民税ポスターの掲示や購入備品へのロゴマークの貼付を行い、事業実績のパネル展示は役場内町民ホールで行っている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・ハード・ソフト面ともに幅広く有効な活用がなされています。HP等での情報発信をご検討ください。
- ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。役場でのパネル展示など、事業の周知をしっかり行っている。
- ・「クマノザクラの整備事業」を継続して実施されているので、ぜひ「クマノザクラ」を通して、地域住民、三重県民に伝えたいこと、「なぜクマノザクラを植えるのか」「植樹しないとどうなるのか」などを伝え学ぶ機会をつくっていただくとよいのではないのでしょうか。「生物多様性」を学ぶ上で重要な教材になると考えます。すでに実施されているかもしれませんが、森林環境教育の地域教材にもなるのではないのでしょうか。NPOと連携してぜひ取り組んでいただきたいです。
- ・情報発信度について、すべての事業で工夫している点が評価できた。
- ・三重県最南端の話題性の高いクマノザクラの発見により森林環境整備に高い関心と人の誘導もあれば県にとっても有益だと思います。
- ・昨年迄行われていた環境教育事業がなかったのは新型コロナウイルスの影響だろうか？工夫をしながらこうした事業にも取り組んで頂きたい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	生活環境林整備事業	3.2	B	3.2	B	3.2	B	2.8	C
2	4	飛雪の滝キャンプ場木製備品購入事業	3.2	B	3.1	B	3.2	B	2.8	C
3	5	クマノザクラ整備事業	3.3	B	3.0	B	3.1	B	2.7	C